

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区	地区内集落	作成年月日	直近の更新年月日
八幡浜市	双岩	布喜川、横平、谷、釜倉、若山、中津川	令和3年3月22日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	221.7	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	127.8	ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	48.3	ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	31.9	ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	2.4	ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	-1.11	ha
(備考) ・中心となる経営体は20経営体。 ・5年後に経営規模拡大を計画している中心経営体は、3経営体、拡大予定面積1.39ha。		

2 対象地区の課題

<input type="checkbox"/> 現在の耕作・維持管理	耕作・維持管理できていない農家が多い。
<input type="checkbox"/> 農業後継者・高齢化	高齢化が進んでいる。後継者少なく、特に谷地区、中津川地区は目途がたっている農家が少ない。
<input type="checkbox"/> 今後の地域農業の担い手	縮小経営を希望する担い手が多い。
<input type="checkbox"/> 新たな農地の受け手確保の必要性	必要。
後継者が少なく、耕作者も減少し、荒れた農地が増える。 水田の一筆面積が小さいため、農業だけでは生計がたてられないため兼業農家が多く、規模拡大も難しい。 情報交換の場が少なく、農地の情報が入りにくいため、農業委員・農地利用最適化推進委員の負担が大きい。	

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区内の農業者が減少しているため、入り作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

鳥獣被害防止対策の継続。捕獲者の確保。
園内道の整備等、基盤整備を行い、労力の負担軽減を図る。
Iターン等新規就農者確保の推進。